



駐日イスラエル大使館 ニッシム・ベン=シトリット 特命全権大使
駐日本アメリカ合衆国大使館 ジョン・ビクター・ルース 特命全権大使
在イスラエル日本大使館 佐藤英夫 大使

2012年11月14日のイスラエル軍によるハマース幹部のアハド・ジャバリ氏の暗殺以降、ガザ最大のアルシファ病院に17日までに搬送された死傷者だけでも350人に到達しています。そのうち子どもの犠牲は137人、そのほか女性・妊娠中の女性、非戦闘員の市民が、主な犠牲者であると報じられています。

今回の空爆が、先に控えた国政選挙を意識したイスラエル政府の計画であることは、多くのメディアや識者が指摘しており、政治を優先し命を軽んじるイスラエル政府の行動を私たちは断じて許しません。また、自衛権に基づく攻撃としてイスラエルを支持するオバマ米国大統領の発言に明らかなように、人道性と正義による判断ではなく、政治的・経済的影響と権力のしがらみに負け、無辜の人々の命の救済より国是を優先するアメリカ政府に対しても抗議します。そして、国際社会を形成する一員である日本政府・外務省に対しても、次の行動を起こすよう要求します。

イスラエル政府は；

- * 国際法を遵守し、直ちにガザ攻撃を中止すること
- * ガザの人々が人並みの生活を送れるよう、封鎖を解除し、移動の制限をなくすこと
- * 国連決議で定められたパレスチナ領土への侵食を続けている入植活動を直ちに止め、パレスチナ住民から奪った土地や水資源を返還すること

米国政府は；

- * ガザ市民の命の救済のために、イスラエル政府に攻撃を止めるよう働きかけること
- * 政治的・経済的戦略のためにイスラエルを支持することを止め、武器の供与を止めること
- * 倫理的に命が国策より優先されることを認識し、非暴力を推進すること

日本政府・外務省は；

- * 沈黙は暴力の容認であることを自覚し、主権国家として、イスラエルに対しガザ攻撃を直ちに止めるよう働きかけること

2012年11月20日

日本 YWCA 会長 俣野尚子
総幹事 西原美香子

日本 YWCA 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京 YWCA 会館 302 号室
TEL: 03-3292-6121 FAX: 03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp